

3章の御手に救い出せれ (エジプト)

強くあれ。

・ 2388 khawzak

・ ハセキヤ khizkeeyaw. 2396

ラブシャケー マンシヤ王のことば

エジプトに駆けよ。主に頼みよ。

ラブシャケー マンシヤ王のことば

ヒゼキヤの救いのことばに
駆けよ。

Ex 14:14

ゴーヤテ、出エジプト。

1 ヒゼキヤ王の第十四年に、アッスリヤの王セナケリブが上ってきて、ユダのすべての堅固な町々を攻め取つた。

2 アッスリヤの王はラキシからラブシャケをエルサレムにつかわし、大軍を率いてヒゼキヤ王のもとへ行かせた。ラブシャケは布さらしの野へ行く大路に沿う、上の池の水道のかたわらに立つた。

3 この時ヒルキヤの子である宮内卿エリアキム、書記官セブナおよびアサフの子である史官ヨニアが彼の所に出てきた。

4 ラブシャケは彼らに言つた、「ヒゼキヤに言いなさい、

『大王アッスリヤの王はこう仰せられる、あなたが頼みとする者は何か。』

5 口先だけの言葉が戦争をする計略と力だと考えるのか。

あなたは今だれを頼んで、私にそむいたのか。

6 見よ、あなたはかの折れかけている葦のつえエジプトを頼みとしているが、それは人が寄りかかるとき、その人の手を刺し通す。エジプトの王パロはすべて寄り頼む者にそのようにするのだ。

7しかし、あなたがもし「われわれはわれわれの神、主を頼む」と私に言うならば、ヒゼキヤがユダとエルサレムに告げて、「あなたがたはこの祭壇の前で礼拝しなければならない」と言つて除いたのは、その神の高き所と祭壇ではなかつたのか。

8 さあ、今私の主君アッスリヤの王とかけをせよ。もしあなたの方に乗る人があるならば、私は馬二千頭を与えるよう。

9 あなたはエジプトを頼み、戦車と騎兵を請い求めているが、私の主君の家来のうちの最も小さい一隊長でさえ、どうして撃退することができようか。

10 私がこの国を滅ぼすために上ってきたのは、主の許しながらしたことであろうか。主は私に、この国へ攻め上げて、これを滅ぼせと言われたのだ』。

36

11 その時、エリアキム、セブナおよびヨニアはラブシャケに

言った、「どうぞ、アラム語でしもべたちに話してください。私たちにはそれがわかるからです。城壁の上に

いる民の聞いているところで、私たちにユダヤの言葉で話さないでください」。

12 しかしラブシャケは言った、「私の主君は、あなたの主君とあなたにだけでなく、城壁の上に座している人々にも、この言葉を告げるために、私をつかわされたのではないか。彼らをも、あなたがたと共に自分の糞尿を食い飲みするに至らせるためではないか」。

13 そしてラブシャケは立ちあがり、ユダヤの言葉で大声で呼ばわつて言つた、「大王、アッスリヤの王の言葉を聞け。」

14 王はこう仰せられる、『あなたがたはヒゼキヤに欺かれではない。彼はあなたがたを救い出すことはできない』。

15 ヒゼキヤが、主は必ずわれわれを救い出される。この町はアッスリヤの王の手に陥ることはない、と言つても、あなたがたは主を頼みとしてはならない』。アッ

16 あなたがたはヒゼキヤの言葉を聞いてはならない。アッスリヤの王はこう仰せられる、『あなたがたは、私と和ぼくして、私に降服せよ。そうすれば、あなたがたはめいめい自分のぶどうの実を食べ、めいめい自分のいちじくの実を食べ、めいめい自分の井戸の水を飲むことができる』。

17 やがて、私が来て、あなたがたを一つの国へ連れて行く。それは、あなたがたの国のように穀物とぶどう酒の多い地、パンとぶどう畑の多い地だ。

18 ヒゼキヤが、主はわれわれを救われる、と言つて、あなたがたを惑わすことのないように気をつけよ。もちろんの國の神々のうち、どの神がその國をアッスリヤの王の手から救つたか。

19 ハマテやアルバデの神々はどこにいるか。セパルワイムの神々はどこにいるか。彼らはサマリヤを私の手から救い出したか。

20 これらの国々のすべての神々のうちに、だれかその国を私の手から救い出した者がいるか。主がどうしてエルサレムを私の手から救い出しができるよう』。

21 しかし民は黙つてひとも答えなかつた。王が命じて、「彼に答えてはならない」と言つておいたからである。

約束の地。

アッスリヤの手から救い出せれ。(2回目)



イザヤ書

主 YHWH
アモツの子イザヤ。
アシラ ネフスン ユダ王/セゼキヤ。
エリヤム.セガト.ヨア

ニクロス
アッシリヤ/セナハル
アサト
(ヒベスラエレ)ナズリヤ
エジアト 国々.一神

ダビデ.ゴーリヤ.

¹ヒゼキヤ王はこれを聞いて、衣を裂き、荒布を身にまとつて主の宮に入り、
²宮内卿エリアキムと書記官セブナおよび祭司のうちの年長者たちに荒布をまとわせて、アモツの子預言者イザヤのもとへつかわした。
³彼らはイザヤに言った、「ヒゼキヤはこう言います、⁴きょうは悩みと責めと、はずかしめの日です。胎児がまさに生れようとして、これを産み出す力がないのです。
⁵あなたの神、主は、あるいはラブシャケのもろもろの言葉を聞かれたかも知れません。彼はその主君アッシリヤの王につかわされて、生ける神をそしりました。
⁶あなたがたの神、主はその言葉を聞いて、あるいは責められるかも知れません。それゆえ、この残っている者のために祈をささげてください!」。
⁷ヒゼキヤ王の家来たちがイザヤのもとに来たとき、
「あなたがたの主君にこう言いなさい、『主はこう仰せられる、アッシリヤの王のしもべらが、私をそしつた言葉を聞いて恐れるには及ばない。」
見よ、私は一つの靈を彼のうちに送つて、一つのうわさを聞かせ、彼を自分の國へ帰らせて、その國でつるぎに倒されさせる」。

²²その時ヒルキヤの子である宮内卿エリアキム、書記官セブナおよびアサフの子である史官ヨアは衣を裂き、ヒゼキヤのもとに来て、ラブシャケの言葉を彼に告げた。

37

36

ヒゼキヤ → イザヤ. おれ.
主 - イザヤ. ラブシャケは死んだ



使者がらの手紙。
ヒゼキヤの神に。民の宮。

イスラエルの聖母子から。
神にへの答え。



37

8 ラブシャケは引き返して、アッスリヤの王がリブナを攻めているところへ行つた。彼は王がラキシを去つたことを聞いたからである。

9 この時、アッスリヤの王はエチオピヤの王テルハカについて、「彼はあなたと戦うために出てきた」と人々が言うのを聞いた。彼はこのことを聞いて、使者をヒゼキヤにつかわそくとして言った。

10 「ユダの王ヒゼキヤにこう言いなさい、『あなたは、エルサレムはアッスリヤの王の手に陥ることはない、と言うあなたの信頼する神に欺かれてはならない。』

11 あなたはアッスリヤの王たちが、国々にしたこと、彼らを全く滅ぼしたことを見てい。どうしてあなたは救われる」ことができようか。

12 私の先祖たちはゴザン、ハラン、レツフおよびテラサルにいたエデンの人々を滅ぼしたが、その国々の神々は彼らを救つたか。

13 ハマテの王、アルパデの王、セパルワームの町の王、ヘナの王およびイワの王はどこにいるか？」

立正6:40
ヨモヤ

14 ヒゼキヤは使者の手から手紙を受け取つてそれを読み、主の宮にのぼつていつて、主の前にそれをひろげ、15 主に祈つて言った、「
16 ケルビムの上に座しておられるイスラエルの神、万軍の主よ、地のすべての國のうちで、ただあなただけが神でいらせられます。あなたは天と地を造られました。
17 主よ、耳を傾けて聞いてください。主よ、目を開いて見てください。セナケリブが生ける神をそしるために書き送つた言葉を聞いてください。

18 主よ、まことにアッスリヤの王たちは、もうもろの民とその國々を滅ぼし、
19 またその神々を火に投げ入れました。それらは神ではなく、人の手の造つたもので、木や石だから滅ぼされたのです。
20 今われわれの神、主よ、どうぞ、われわれを彼の手から救い出してください。そうすれば地の國々は皆あなただけが主でいらせられることを知るようになるでしょう」。

37

21 その時アモツの子イザヤは人をつかわしてヒゼキヤに言った、「イスラエルの神、主はこう言われる、あなたはアッスリヤの王セナケリブについて私に祈つたゆえ、

22 王が彼について語られた言葉はこうである、『處女であるシオンの娘はあなたを悔り、あなたをあざける。

23 あなたはだれをそしり、だれをののしつたのか。あなたはだれにむかって声をあげ、

24 目を高くあげたのか。イスラエルの聖者にむかつてだ。

25 あなたは、そのしもべらによつて主をそしつて言つた、

「私は多くの戰車を率いて山々の頂にのぼり、レバノンの奥へ行き、たけの高い香柏と、最も良いいとすぎを切り倒し、またその果の高地へ行き、その密林にはいつた。

26 私は井戸を掘つて水を飲んだ。私は足の裏でエジプトのすべての川を踏みからした」。

27 あなたは聞かなかつたか。昔私がそれを定めたことを。

あなたたがこわして荒塚とすることも、いにしえの日から、私が計画して

今それをきたらせたのだ。

28 そのうちに住む民は力弱く、おののき恥をいだいて、

野の草のように、青菜のようになり、育たずに枯れる屋根の草のようになつた。

私はあなたの座すること、出入りすること、また、私にむかつて怒り叫んだことをも知つてゐる。

29 あなたが、私にむかつて怒り叫んだことと、あなたの高慢な言葉とが私の耳にはいつたゆえ、私は、あなたの鼻に輪をつけ、あなたの口にくつわをはめて、あなたを、もと来た道へ引きもどす」。

3年

37

ヨルハの者や実を結ぶ。
セナリイの死とニクロスの宮。

30 あなたに与えるしるしはこれである。すなわち、ことし
は落ち穂から生えた物を食べ、二年目には、またその
落ち穂から生えた物を食べ、三年目には種をまき、刈
り入れ、ぶどう畑を作つてその実を食べる。

31 ヨダの家ののがれて残る者は再び下に根を張り、上に
実を結ぶ。

32 すなわち残る者はエルサレムから出のがれる物はシオ
ンの山から出る。万軍の主の熱心がこれをなし遂げら
れる。

33 それゆえ、主はアッスリヤの王について、こう仰せられ
る、『彼はこの町にこない。またここに矢を放たな
い。また盾をもつて、その前にこない。また墨を描い
て、これを攻めることはない。

34 彼は来た道から帰つて、この町に、はいることはない、
と主は言う。

35 私は自分のため、また、私のしもベダビテのために町を
守つて、これを救おう』

36 主の使が出て、アッスリヤびとの陣営で十八万五千人を
撃ち殺した。人々が朝早く起きて見ると、彼らは皆
死体となつていた。

37 アッスリヤの王セナケリブは立ち去り、帰つていって二
ネベにいたが、

38 その神ニストロクの神殿で礼拝していた時、その子らのア
デラン・メレクとシャレゼルがつるぎをもつて彼を殺
し、ともにアララテの地へ逃げていった。それで、そ
の子エサルハドンが代つて王となつた。

9:1-7

ヨベル?
2章

死体。

・出エジプト14:30 海に死 — エジプト人の手から救う
vs エリヤ — 1王紀17:45-47
つるぎを「使わぬ」に救う。



38

- ²¹ イザヤは言った、「干いちじくのひとたまりを持つてこさせ、それを腫物につけなさい。そうすれば直るでしょう」。
- ²² ヒゼキヤはまた言った、「私が主の家に上ることについて、どんなしるしがありますか?」。

生き子。

年。

39

¹ そのころ、バラダンの子であるバビロンの王メロダク・バラダンは手紙と贈り物を持たせて使節をヒゼキヤにつかわした。これはヒゼキヤが病気であつたが、直つたことを聞いたからである。

2[西]9:12

シエバ女王には
見せみだげひよす
何ごともあげん

なしにへえ。

² ヒゼキヤは彼らを喜び迎えて、宝物の蔵、金銀、香料、貴重な油および武器倉、ならびにその倉庫にあるすべての物を彼らに見せた。家にある物も、国にある物も、ヒゼキヤが彼らに見せない物は一つもなかつた。

³ 時に預言者イザヤはヒゼキヤ王のもとに来て言つた、「あの人々は何を言いましたか。どこから来たのですか」。ヒゼキヤは言つた、「彼らは遠い国から、すなわちバビロンから来たのです」。

⁴ イザヤは言つた、「彼らは、あなたの家で何を見ましたか」。ヒゼキヤは答えて言つた、「彼らは、私の家にある物を皆見ました。倉庫のうちに、彼らに見せなかつた物は一つもありません」。

⁵ そこでイザヤはヒゼキヤに言つた、「万軍の主の言葉を聞きなさい。
⁶ 見よ、すべてあなたの家にある物およびあなたの先祖たちが今日までに積みたくわえた物がバビロンに運び去られる日が来る。何も残るものはない」と主が言われます。

⁷ また、あなたの身から出るあなたの子たちも連れ去られう」。

⁸ ヒゼキヤはイザヤに言つた、「あなたが言われた主の言葉は結構です」。彼は「少なくとも自分が世にある間は太平と安全があるだろう」と思ったからである。

日々の内。

40:-66:?

2[西]6:32
（ヨロモ）のえり強引な
(ヒゼキヤ)ヒゼキヤ—ヨシヤ。
在きといへば。

23:25-27

. 2列22:18-20 ヨシヤ./2歴35:20-25
. 1列11:11-13 ヨロモノ2[西]16:
ナム.—ダスコ・ベン・ダドニ
宮と王宮から宝とぼり。
病氣。

ヒゼキヤがバビロンと同盟?

